

施策番号 4-3-3	施策名 上下水道の整備	基本目標	自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり		
		政策名	自然と調和した持続可能な生活環境の整備・保全		
	主管課	水道課	課長名	西川 一浩	内線 420
	施策関係課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
上下水道等の整備により、ライフラインを確保し、快適な生活環境の維持に努めます。		上下水道等施設	・老朽化した施設の改築更新・耐震化				安全・安心な上下水道の安定提供
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度(予想)	2022年度目標	
① 水洗化率(下水道・集落排水・合併浄化槽)	決算統計	%	96.0	96.1	95.9	96.2	
② 水道普及率(上水道・簡易水道)	決算統計	%	83.6	82.3	82.4	90.9	
③							
④							
成果指標設定の考え方	①公共下水道、農業集落排水、合併浄化槽の生活排水処理による水洗化率として、2022年度目標値を96.2%と設定 ②上水道区域、3簡易水道(上美生・美生・河北)区域の水道普及率として、2022年度目標値を90.9%と設定						

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算
施策事業費(千円)	828,094	887,178
人工数(業務量)	7.1637	7.0137

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2019年度の成果評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	給水人口減少などによる水道普及率は低下しているが、拡張区域における整備は順調に進んでいる。郊外地における個別合併浄化槽の設置により水洗化は向上している。
②2022年度の目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	上水道区域拡張地域の工事も2020年度をもって完了となり、順次給水人口も増加する見込みである。個別合併浄化槽の設置についても、毎年計画的に予算計上をを実施している。
(2) 施策の成果評価に対する2019年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	個別合併処理浄化槽新設事業 下水道建設事業 配水管整備事業 上水道(第6期)拡張事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	<ul style="list-style-type: none"> ・個別合併浄化槽は、農業者の世帯分離や町外からの移住者など非農家住宅の新築に伴う要望は増加の傾向である。 ・下水道施設は、農業集落排水施設を含め、老朽化施設の再整備(改築更新、長寿命化)及び耐震化対策を進めている。 ・簡易水道施設は、河北地区において、老朽化施設の更新事業を北海道との合併施工で平成26年度より継続実施している。 ・上水道施設整備については、無水源地域の解消に向け拡張区域の整備を進めているほか水道施設の更新や耐震化を推進するとともに、計画的に老朽管の布設換を実施している。 		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>・上下水道施設は、住民生活に必要な不可欠なライフラインとして、地域住民の生命と暮らしを守るという極めて重要な役割を担っていることから、今後においても現状施設の維持管理と計画的な施設の改築更新、耐震化等対策を進めていく必要がある。</p>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<p>・上水道事業の経営面においても、効率的な施設整備と適正な管理や料金の適正化に努め、健全な事業経営の維持ため安全、安心な供給に対する要望がある。</p> <p>・郊外地における生活環境及び水洗化の向上を図るとして個別合併処理浄化槽新設事業は、農業後継者の世帯分離や町外からの移住者等による新規要望が増加傾向にある。</p>

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

<p>●取組① 上下水道施設の整備強化と維持管理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上水道では、「芽室町上水道事業施設整備基本計画」に基づき、施設の更新や耐震化を計画的・効率的に実施していく。 ・下水道では、「芽室町下水道ストックマネジメント計画」に基づき、効率的な維持管理や改築更新・耐震化対策を推進していく。 ・農業集落排水では、「芽室町農業集落排水施設最適整備構想」に基づき、計画的な改築更新・耐震化対策を推進していく。 ・個別合併浄化槽では、郊外地(農村部)における下水道施設であり、多くの住民が良好な生活環境を確保するため必要な施設であり「芽室町合併処理浄化槽基本計画」に基づき、整備を推進していく。 <p>●取組② 上下水道事業の健全な運営の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非法適化事業の法適化の検討及び各事業の経営戦略の策定～「わかりやすい上下水道経営」の情報提供

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	<p>拡張区域における整備は順調に進んでいるほか、郊外地における個別合併浄化槽の設置により水洗化は向上しているため、策定時と比較して前進したと評価する。</p>	A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	<p>計画的に整備を進めてもらいたい。</p>	<p>A: 実現した</p> <p>B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</p> <p>C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した</p> <p>D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない</p> <p>E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した</p>				

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	<p>効率的な維持管理や改築更新・耐震化が進められており、策定時と比較して前進したと評価する。</p>	A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	<p>計画的に整備を進めてもらいたい。</p>	<p>A: 実現した</p> <p>B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</p> <p>C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した</p> <p>D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない</p> <p>E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した</p>				